

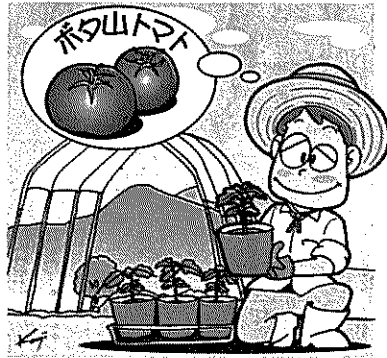
# ぼた山で黒トマト栽培

福岡県筑豊地区に残る炭  
 鉱時代の「遺産」ぼた山を  
 地域おこしに生かそうと、  
 同県嘉麻市の保育園副園長  
 溝口栄仙さん(右)らの市民  
 グループが、ぼた山で黒ト  
 マトの栽培に乗り出した。



溝口栄仙さん

## 福岡県嘉麻市の 市民グループ



既に三百五十本の苗を植  
 え、秋には収穫祭を行う計  
 画。農家にも生産を呼び掛  
 け、特産品としてアピール  
 したいと考えた。

ぼた山は、利用価値の低  
 い粗悪な石炭や、坑道掘削  
 で出る土砂を積み上げた人

工の山。子どもたちから  
 ぼた山が遊び場だった溝口  
 さんは、その生い立ちを知  
 らない世代が増えていくこ  
 とを懸念。「(ぼた山を)  
 地域の活性化とPRに活用  
 しよう」と模索したところ、  
 旧山田市(現嘉麻市)が一  
 九九八年からぼた山で試行  
 ・栽培した「ボタ山トマト」  
 黒トマトに着目した。南米

を思い出した。当時、赤くて甘いボタ山  
 トマトは人気を集めたが、  
 多量の肥料が必要なこと  
 など課題も多く、立ち消え  
 した。

そこで今回、溝口さんは  
 石炭の「黒」を運搬させ、  
 より地元をアピールできる  
 黒トマトに着目した。南米

原産の赤いトマトに品種改  
 良を加えたもので、苦味や  
 酸味が強いのが特徴。国内  
 での流通量は少ないとい  
 う。

H20.6.18  
 西日本(9)

## 「地域活性化に一役」

炭を想  
 石連

五月、溝口さんが所属す  
 る飯塚青年会議所まちづく  
 り懇(きん)け委員会に栽培を持  
 ちかけたところ、「(旧産  
 炭地ならではの)新しい挑  
 戦をしよう」と実施が決定。  
 委員会外の賛同者を含め約  
 二十人のメンバーを中心に  
 今月八日、ぼた山に建てら  
 れたビニールハウスに苗を  
 植え、農家の協力も得て取  
 り組みを本格化した。

溝口さんは「インターネ  
 ットで積極的に発信して、  
 この地域の商品にしたい。  
 炭鉱遺産を富の遺産として  
 活用していきたい」と意気  
 込んでいる。

炭を想  
 石連